







・ 錦木塚伝説の若者は、大湯草木村に住んでいた。



マタギ左多六と忠犬シロ
の伝説も草木村

天下御免の又鬼使役物を道頓親公より拝領し代々継承していた。戦冬の如月、左多六とシロは狩に出かけ獲物を通つて地の領域に入り捕縛された。獲物を所持せず苦境に陥る主人を助けようとシロは必死に走り続けた。この伝説は左多六と忠犬シロのふるさと草木村に伝わる。

柳館喜一郎氏は代々又鬼左多六の子孫が居たといわれている。左多六とシロの伝説は草木村に伝わる。

- ・ マタギの佐多六…草木村柳館喜一郎氏宅は佐多六の子孫
- ・ 草木村は、鹿角マタギ発祥の地

忠犬シロを祀る老犬神社(大館市十二所葛原)





由緒
舞楽の行事と解説
特別公開の記録

アクセス
リンク

大日堂舞楽公式ブログ



四集落の能衆によって受け継がれてきた伝統の舞楽
大日靈貴神社の養老礼祭

大日堂舞楽と行基

大日堂舞楽の由緒と概要



奈良時代の名僧「行基」

大日堂舞楽(養老礼祭)の起源は、元正天皇の養老二年(西暦718年)、天皇の勅令により大日堂(大日靈貴神社)が再建された際に、名僧行基とともに都から下向した業人が舞った祝賀の舞楽が里人に伝えられたものと言われ、今日まで傳承されてきました。その年の国土の平安・五穀豊穡・無病息災などの祈りを込めて、毎年正月二日に奉納されています。
養老年間に始まったときから、舞楽を行なう人々には土地が与えられ、地付神役とされてきた。江戸時代も南部藩からも田畑などが与えられるなど、崇敬されてきました。昭和二十七年(西暦1952年)、当時の文部省から無形文化財の指定を受けたのを期に、大日堂舞楽保存会を結成し、舞楽の傳承に努めています。昭和五十一年(西暦1976年)には重要無形民俗文化財に指定され、平成二十一年(西暦2009年)にユネスコ無形文化遺産に登録されました。

逆引き事典から探す 組織別から探す キーワードから探す Google カスタム検索 検索

土地改良偉人伝・大阪府代表「行基」 問い合わせ 農林水産省について

ホーム > 組織・政策 > 土地改良偉人伝～水と土を拓いた人びと～ > 大阪府 農と水を支えた人 行基

大阪府 農と水を支えた人 行基

行基の灌漑事業

大阪府堺市
668年～749年(天平21年)

行基は、奈良時代の僧侶で、天智天皇即位の668年和泉国大鳥郡蜂田郷(現・堺市西区家原寺町の辺り)で生まれました。父方の高志(こし)氏は百濟系(渡来人)の豪族、母方の蜂田氏は中臣(なかとみ)系の豪族でした。

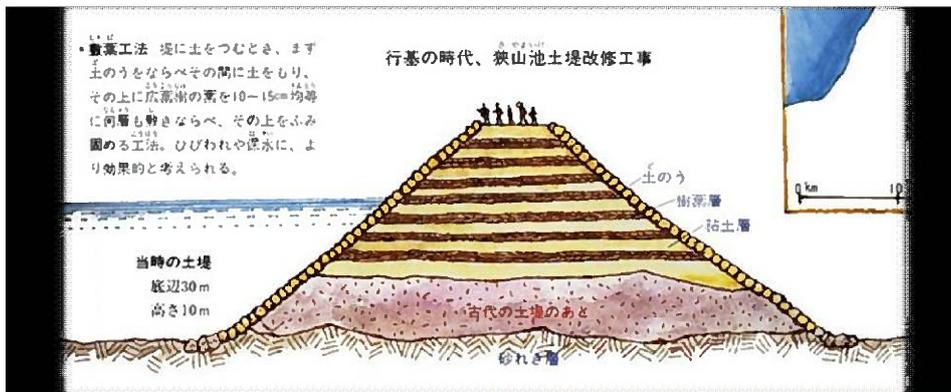
行基は15歳の時に出家し、法相宗飛鳥寺の高僧・道昭について修行しました。38歳の時から各地を巡り民間布教に努めました。その一方、土木技術を習得した行基は、彼を慕い集まった庶民と共に、苦しんでいる人々を救うため、ため池や農耕かんがい施設を造りました。ため池、用水路に始まる土木工事は、さらに堀川、波止場、橋、道路へと拡大していきました。

大阪府内には行基が造ったとされる「ため池」が、狭山池(大阪狭山市)、久米田池(岸和田市)、鶴田池(堺市)など数多く残されており、これら施設は時代を超えて地域住民に恩恵を与え続けています。行基は749年、大勢の民衆に惜しまれつつ、82歳の生涯を閉じましたが、行基が築いた業績は人々に語り継がれ、今でも行基菩薩として慕われています。



行基坐像(複製)





- ため池技術伝承ルート…仏教とともにインド・スリランカ～中国～日本へ
- 遣唐使…行基の師匠・道昭は、新しい仏教と土木技術を学んで帰国後、都市部に橋を架け、井戸などを建設(都市仏教の時代)
- 弟子の行基は、その技術を農村部へと拡大

- ・ 狭山池(616年)…日本最古のダム形式ため池
- ・ 731年 決壊した狭山池を行基が最新工法で改修
- ・ 敷葉工法(しきはこうぼう)…締め固めた粘土の上に排水材・広葉樹の葉を厚さ10～15cm均等に敷く。粘土に含まれる水は、敷葉で排水し、より丈夫なため池に改修。

●土木の絵本●

人をたすけ国をつくった坊さんたち

日本の土木工事をひらいた人びと

道宣・道昭・行基・良弁・道源・空海
空也・一護・忍性・敏達・神海・観牛

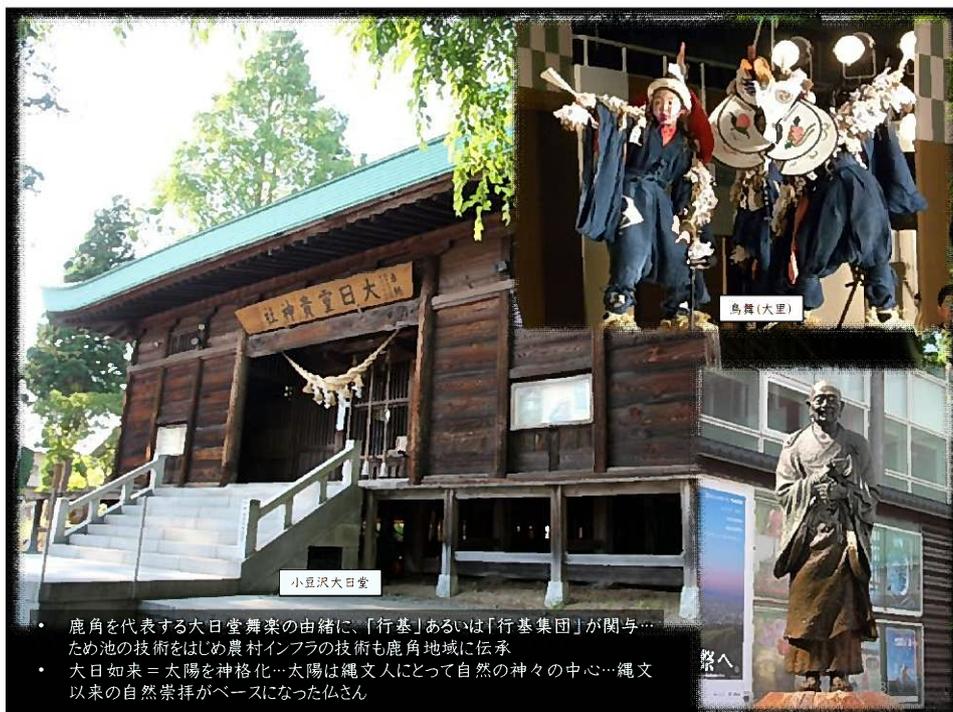
「土木の絵本」(全国建設研修センター)



土地改良の技術で農村への布教を拡大



- ・ 行基は、ため池やかんがい施設をつくり、洪水や干ばつから農村を救ったり、新田開発を技術で支えたりすることで、圧倒的な農民の支持を獲得、農村への布教を拡大→「行基菩薩」
- ・ 717年 朝廷は行基の活動を弾圧
- ① 仏教は国を守る上流階級の学問。農村布教は百姓をあやしい言葉で惑わす。僧は免税。彼を支持する農民が大量に僧になれば、税が少なくなることを憂慮。
- ②



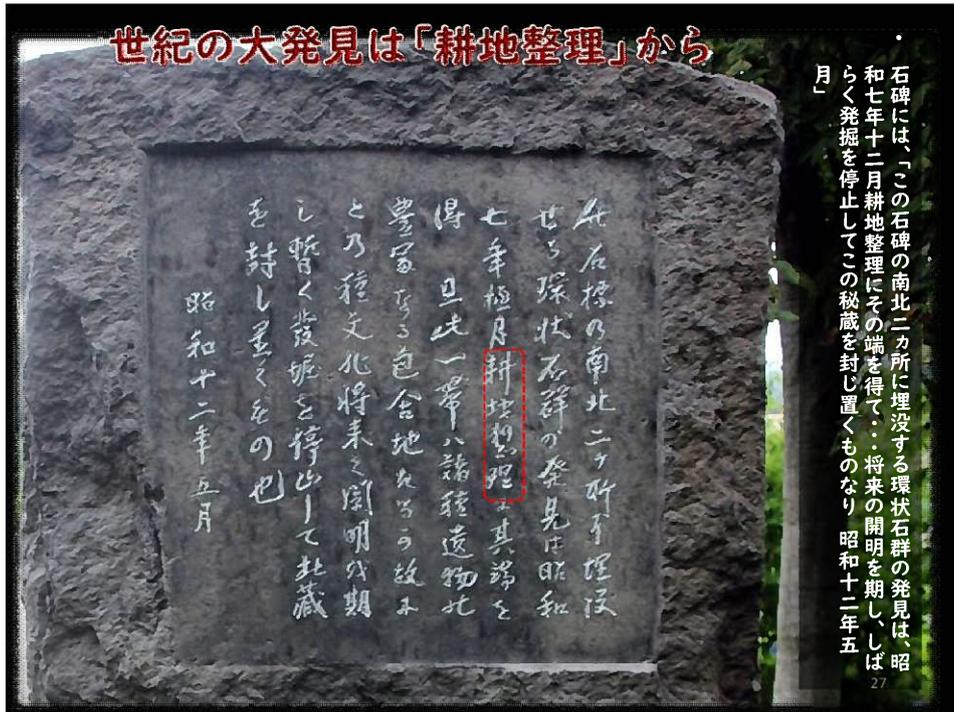








世紀の大発見は「耕地整理」から



石碑には、「この石標の南北ニカ所に埋没する環状石群の発見は、昭和七年十二月耕地整理にその端を得て... 将来の開明を期し、しばらく発掘を停止してこの秘蔵を封じ置くものなり 昭和十二年五月」



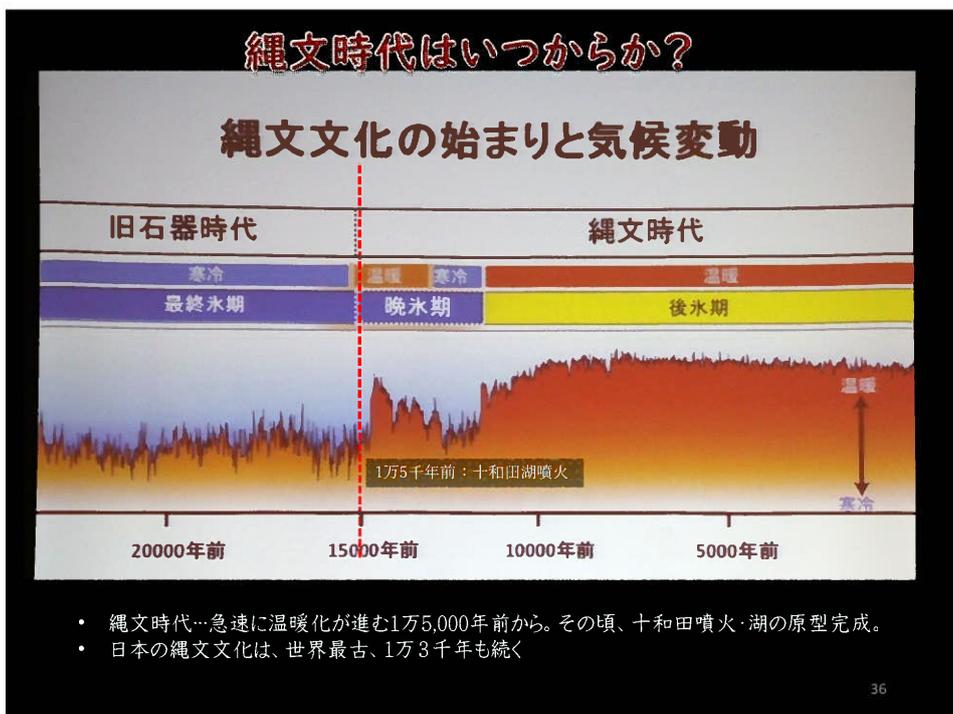
発見当初「中通遺跡」

- 大正12年5月、中通地区耕地整理事業の事業認可申請。畑と原野200ha。
- 昭和6(1931)年、水路建設中、大湯宇野中堂地内において大湯環状列石の一部を発見
- 昭和8年3月、「大湯郷土研究会」発足
- 東北帝国大学喜田貞吉(きたださだきち)博士(昭和8年5月調査講演記録)…「わが国に例のない珍しいもの、その形式においてほとんど類例を知らない…全く特異な形態で大湯式環状石離(せきり)というべきもの…土地の名称をとって「中通遺蹟」と仮の名をつけておきましょう」







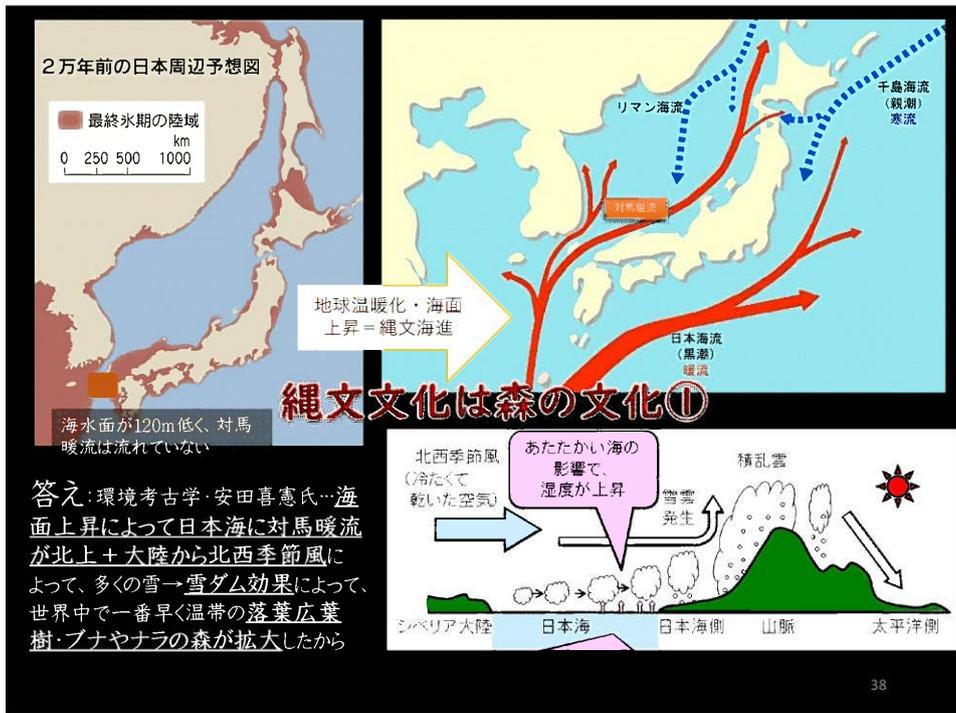




Q: 縄文時代が他国より群を抜いて早い理由は何か

- 1万5千年前の植生…十和田噴火による埋没林調査によると、カラマツ、トウヒ、モミの亜寒帯針葉樹林であったことが分かった。それが噴火の火砕流で一気に死滅。やがて気候の温暖化が進むと…

37



38



- ・ 豪雪地帯・八幡平…ブナ～チシマザサ群落…タケノコのメッカ
- ・ 積雪量が多くなるほど、ブナ～チシマザサ群落の優占度が高くなる。
→十和田・八幡平～秋田駒ヶ岳…タケノコ銀座～森の恵みが豊か

世界最古の土器が生まれた理由

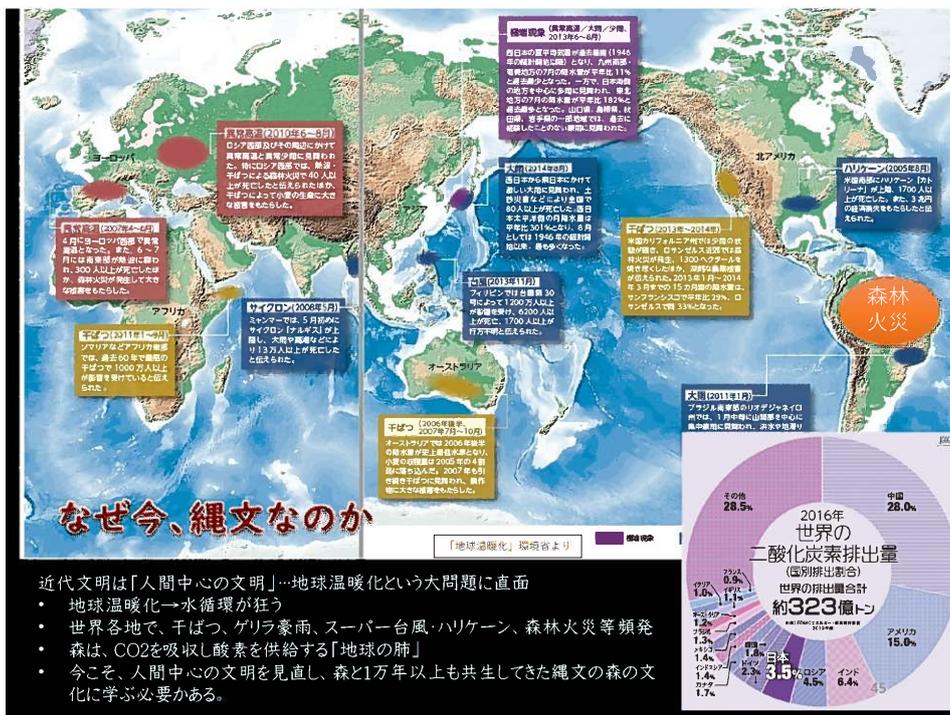
- ・ ブナ帯の恵み・トチノキやドングリ類などの木の実、ゼンマイ、ワラビ、フキなどの山菜類はアクが強く、そのままでは食べられない。
- ・ 加熱処理してアクを抜き、食べやすいように軟らかくするため。
- ・ 土器で煮炊きをすることで、食生活が格段に豊かに

・ ブナ帯の森の恵みが世界最古の土器を生み出した。

・ 鍋料理、汁もの料理が好き…縄文の名残

縄文文化は森の文化②





世界に誇る文化遺産の宝庫

花輪ばやし

- 大日堂舞楽、花輪ばやし+大湯環状列石、毛馬内の盆踊り
- なぜ世界に誇る文化遺産が多いのか？
- 鹿角は十和田・八幡平噴火、ヤマセ常襲地帯で稲作が不安定、森の恵みに依存する度合いが高い→それだけ神仏に祈る文化の歴史も古く、質、量ともに高い

47

**森の文化の取組
森林セラピー**

八幡平森林セラピーロード

- 森の中で、「ココロとカラダの健康づくり」に役立つ地域を森林セラピー基地として認定。全国で64。
- 鹿角市は県内で唯一「森林セラピー基地」に5つ（八幡平森林、湯瀬渓谷森林、東山森林、黒森山森林、中滝森林）のセラピーロードが認定。

48

